

おおたの教育

第109号

大田区教育委員会広報

平成23年(2011年)
10月1日発行

今号の主な内容

- 第1面 国際理解教育の推進
- 第2面 伊豆高原学園の再整備
- 第3面 第28回大田区民スポーツまつり
- 第4面 中学校教科用図書の採択結果

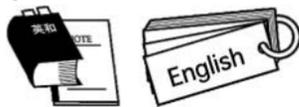
発行/大田区教育委員会 〒144-8623 大田区蒲田五丁目13番14号 TEL. 03-5744-1111(代表) HP <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

国際理解教育を推進します

羽田空港が再国際化を果たしました。こうした大田区の社会状況の変化に合わせ、国際理解教育をさらに推進していきます。

・外国人による英語指導

英語を使って、日常的な会話や簡単な情報交換ができる実践的コミュニケーション能力をつちかうために、小学校5・6年生の外国語活動や、中学校での外国語(英語)の授業に、外国人を外国語教育指導員として派遣し、指導を行っています。



・日本語特別指導

おおた未来プラン10年が掲げる「誰もが暮らしやすいまちをつくります」という方針の下、外国から転入し日本語指導が必要な児童・生徒に、日本語の初期集中指導を行っています。その後、さらに日本語指導を希望する小学校第4学年以上の児童・生徒には、通級型の日本語学級(蒲田小・蒲田中に設置)での指導も行っています。

・大田区立中学校生徒海外派遣

区立中学生56名(各中学校2名ずつ)が、海外での生活体験を通して、外国の生活や文化の理解を深めるとともに、国際社会において信頼と尊敬の得られる人間性豊かな生徒を育成することを目的に実施しています。

訪問先は、27回目を迎えた今年から姉妹都市であるアメリカ合衆国セーラム市に加え、ドイツ連邦共和国ブレーメン市の2都市となりました。

第27回 中学校生徒海外派遣報告 平成23年7月22日(金)～8月2日(火)

・Aコース(セーラム市)

Aコースはボストンを経由し、セーラム市にてホームステイを行いました。ボストン市では、マサチューセッツ州議会ステートハウスを訪問し、セーラム選出のキーン議員より歓迎を受けました。また、ハーバード大学、ボストン美術館等の市内見学も行いました。セーラム市では、市長を表敬訪問し、議場にて派遣団として公式挨拶を行ったり、浮世絵や重箱など日本の伝統文化を紹介するコーナーがあるピーボディ・エセックス・ミュージアムを参観し、改めて日本のよさを実感することができました。

・Bコース(ブレーメン市)

Bコースは、ミュンヘンにて1泊した後、初めての地ブレーメン市にてホームステイと、ものづくり体験を行いました。

世界遺産に登録されたブレーメンのマルクト広場の市庁舎とローランド像の前を大田区立中学校生徒海外派遣団が歩いている様子は、ブレーメン市民の注目を集め、市庁舎でも歓迎していただきました。

また、パン作りやフェルト制作、メルセデス・ベンツ車の部品作り等のものづくり体験を通して、マイスター制度をとるドイツの仕事に対するプロ意識と、大田の町工場等で引き継がれている職人芸の伝承との共通点や相違点に触れることができました。

Aコース参加生徒の感想から

「僕は英語が苦手です。ホームステイする事に自信がありませんでした。しかし、ホストファミリーは、僕が英語をわかっていないと知ると、簡単な単語やジェスチャーで教えてくれました。人間にとって言葉は大切だけど、本当に大切なのは、自分の思っている事や気持ちをいかにしっかりと伝えようとするかだと思います。『簡単な英語でいいから、今自分の思っている事や気持ちを伝えよう』と思い、段々自分からホストファミリーに話しかけるようになりました。」



Bコース参加生徒の感想から

「小さなことを一つ伝えようとするだけでもすごく時間がかかってしまって、苦労することも多かったけれど、お互いの言葉が通じないのは、逆にコミュニケーションをとりやすかったのではないかと思います。お互いの考えを分かり合おうとするだけで、自分なりにいろいろな表現をして、たまにその表現の仕方が面白くて笑いあうこともありましたが、通じたときはお互いにスッキリとした笑顔で顔を合わせて喜びました。」



「海外派遣生徒に選ばれた時、ホストファミリーと仲よくなれるのか、英語は通じるのかといった不安がありました。しかし、ホストファミリーと会った瞬間、そんな不安は無くなりました。ホストファミリーが僕を見つけたら、すぐに名前を呼んで、明るく迎えてくれたからです。ホストファミリーと仲良くなった分、別れがとても辛くて泣きたくなりました。しかし、満面の笑みで僕を見ていたので『別れる時こそ笑顔でいよう』と思い、泣きたくなる気持ちを頑張って抑えました。そして、僕も負けないくらいの笑顔で『See you again』と言って別れました。」



「ものづくりについて実際に体験しインタビューする中で、日本と比べるとマイスター制度をとっていることや、大規模な職業教育施設があることなどの違いはあるけれど、両国ともに熱い気持ちで仕事をしていることや、どちらの国の会社も、自分たちの仕事に誇りをもっていることは共通であると感じました。」



今回の派遣を通して、生徒一人ひとりが豊かな国際感覚を身に付け、世界で活躍できる人間になってほしいと願っています。

問合せ 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

伊豆高原学園の再整備

～大田区立伊豆高原学園改築・運営等事業の実施方針を公表しました

自然に恵まれた伊豆高原学園での移動教室

伊豆高原学園（静岡県伊東市八幡野）は昭和42年9月に開設した校外施設で、区内の小学校5年の移動教室を実施しています。周辺の大室山や城ヶ崎海岸など、豊かな自然に恵まれた環境の中、学園での宿泊を伴う集団生活を通して、通常の学校生活では得がたい体験をしています。



副読本「伊豆高原に学ぶ」より

改築検討の経緯

学園の開設から40年余りが経過し、老朽化への対応が必要となってきました。また、雨天時の活動場所や現地ならではの学習を進めるための設備の拡充など、学習面での機能の充実、学校が使用しない期間の施設の活用等の課題があります。これらの課題に対応するため学園改築について検討を進め、平成22年4月に大田区立伊豆高原学園改築基本計画を策定しました。

実施方針等の公表

平成23年6月、「大田区立伊豆高原学園改築・運営等事業実施方針」を公表しました。実施方針は区ホームページ、区政情報コーナー、学務課窓口で閲覧できます。

福島県伊達市の児童と保護者を野辺山学園で受入れ

大田区では、今年の8月、長野県南牧村にある大田区立野辺山学園において、福島県伊達市の小学校1年生から4年生を中心とした子どもたちと保護者の方々を3泊4日の日程で受け入れました。第1回目（8月2日～5日）には子どもたち57名と保護者33名、第2回目（8月17日～20日）には子どもたち137名と保護者78名が参加しました。



野辺山学園でのスイカ割り

福島県の北部に位置する同市は、市内の一部が「特定避難勧奨地点」に指定され、福島第一原子力発電所の事故の影響を受けている地域です。一部の学校の校庭では活動が行えず、プールにも入れない状況が続いています。

初日、約7時間のバスの旅を終え、野辺山学園に到着した一行は、翌日からグループに分かれ、ふれあい公園でのイワナつかみ捕り、八ヶ岳牧場でのバター作り体験、アクアリゾート清里での温水プール、清泉寮観光といった様々なプログラムに参加しました。最後の夜となる3日目の夜には学園の飯ごう炊さん場でバーベキューを行った後、園庭に移動しキャンプファイヤーやスイカ割り、花火を楽しみました。校庭での活動が「0時間」だったという子どもたちは、何箇所もすり傷をつくるほど走り回り、今年初めて入るプールにも大満足の様子でした。保護者の方からも「今回のサマーキャンプは親子で参加出来るのでありがたい」と喜びの声が寄せられました。

今回の事業は伊達市からの協力要請を受けた大田区と現地の南牧村とが連携して支援を行いました。また、近隣住民の方のご協力で、園庭で打ち



記念撮影

上げ花火やナイアガラ花火の披露がありました。

大田区教育委員会は、伊達市の子どもたちが放射能を気にせず、安心して日常生活を送れるようになる日が1日も早く訪れることを心から願っています。

新伊豆高原学園の改築・運営のポイント

◆新伊豆高原学園は平成27年度供用開始予定

平成24年度から26年度にかけて設計、現施設の解体・改築工事を実施し、平成27年度から同じ場所で新しい伊豆高原学園の運営開始を予定しています。なお新学園の工事期間は伊豆高原学園付属施設（旧伊豆高原荘）を代替施設として使用します。

◆学習機能の向上

現地での調べ物学習が充実できるように、資料の展示室等を新設します。また、施設内での体験学習のための設備の充実を図ります。

◆学校が使用しない期間は区民の方も利用できます

旅行やサークル活動を想定し、学校が使用しない期間（土・日曜日及び夏休み・冬期等特定期間）に区民の方に活用いただけるよう設備の充実を図ります。

◆環境に配慮した施設

伊豆高原の豊かな自然環境を活かした施設整備を行います。また、環境にやさしい省エネルギー化などに配慮した施設とします。

伊東市との連携

伊豆高原学園での学習をより有意義なものにするために、現地の方や関係機関との連携を進めています。



伊東自然歴史案内人会の方と周辺の散策をしています。(写真:伊豆新聞提供)



6月に清水教育長が伊東市長を訪問し、学園の再整備について説明しました。

問合せ 校外施設整備担当課 TEL 5744-1706 FAX 5744-1536

「放射線」をテーマに 教員研修を実施

今年の7月28日（木）、「放射線」をテーマに理科教員を対象とした研修を開催しました（会場：石川台中学校体育館）。講師は東京工業大学原子炉工学研究所教授井頭政之先生にお願いしました。

「放射線」は、今回の学習指導要領改訂により31年振りに復活した内容です。新学習指導要領により「核燃料は放射線を出していること、放射線は自然界にも存在すること、放射線は透過性などをもち、医療や製造業などで利用されていること」などを学習します。研修では、放射線についての体系的な理解から具体的な実験方法について学び、放射線に関する最先端の科学技術についての理解、いかに授業に生かせるかという視点で研修を深めました。

研修後、「放射線についての体系的な理解を踏まえて、生徒からの質問に正確に答えることができるようになった」という感想をもつ教員が多かったです。また、「今回の研修で、放射線の軌跡を目視できる霧箱を作成したが、これを活用した授業を計画してみたい。」という教員もいました。

この度の研修は、3月11日の震災以前から計画されていたものです。しかし、区民や保護者の皆様の放射線への関心も高いことから、一般に公開することを区報7月21日号で広報しました。当日は約20人の保護者や地域の方に参観いただきましたが、「区内の測定箇所による放射線量の差は、もともと自然界に存在する自然放射線の差の範囲内である。」との言葉に、皆様安心されたご様子でした。



研修時の様子

問合せ 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

第28回大田区民スポーツまつりの開催

10月10日(月)体育の日に第28回大田区民スポーツまつりを開催します。
会場は、大森スポーツセンター、大田スタジアム、多摩川緑地、区立小中学校、民間スポーツ施設などです。会場では区内スポーツ団体などの協力により、体力測定で自分の体をチェックしたり、さまざまなスポーツやレクリエーションを楽しんだりすることができます。これを機会にいろいろなスポーツを体験しませんか？

プログラム、会場についての詳細は、大田区報9月21日号、区設掲示板(9月27日～10月10日)でご案内するとともに、ホームページに掲載しています。ご家族やお友達などお誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

▼日時：平成23年10月10日(月)体育の日

▼会場：大森スポーツセンター、大田スタジアム、多摩川緑地、区立の小中学校、民間スポーツ施設など

問合先 (財)大田区体育協会 TEL 5471-8787 FAX 5471-8789

問合先 社会教育課事業担当 TEL 5744-1441 FAX 5744-1539

ホームページ：http://www.city.ota.tokyo.jp/event/event_sports



ミニテニス



カヌー

【主なスポーツ、レクリエーション】

☆空手、和弓、民踊、合気道、太極拳、気功太極拳、武術太極拳、少林寺拳法、カンフー、テコンドー、ボクシング、ウェイトリフティング

☆バトントワリング、レクダンス、エアロビクス

☆トレーニングマシン体験、体力テスト・骨密度測定、健康増進相談

☆バドミントン、バスケットボール、テニス、ソフトテニス、ミニテニス、卓球

☆水泳、アクアビクス、カヌー、ボート、投網体験、釣り

☆タッチ&タグラグビー、グラウンドゴルフ、乗馬、陸上タイムトライアル、サッカー、ゲートボール

☆フラッグフットボール、スポーツ吹矢、ビームライフル、インディアカ

「大田・ものづくり科学スクール」 受講生1000人突破!

「大田・ものづくり科学スクール受講生1000人突破記念イベント」が、8月21日、大田区雪谷大塚町のアルプス電気株式会社の本社にて開催されました。この講座は、平成15年11月からアルプス電気株式会社にご協力いただき、「ものづくりのまち大田」が目指す青少年人材育成の教育講座として、ものづくりに興味・関心をもつ小中学生を対象に始まりました。毎年多数の希望者があり、昨年12月に受講生が累計1000人を超えました。

イベント当日には、今年度第6回の科学スクールが開催され、小4～中1の20名の子どもたちが4足ロボットの製作に挑戦しました。子どもたちは、アルプス電気の指導員の方の助言を受けながら、はんだ付けや組み立て作業に真剣に取り組み、プラスチック製のロボットが完成すると、何度も歩かせてみてはその出来映えを満足そうにながめていました。作業後の反省会では、関係者、発足当時の科学スクールに参加した受講生らが見守る中、参加者一人一人が製作した感想を述べました。最後に、教育委員会よりアルプス電気株式会社顧問である乃美元彦様に感謝状が贈られ閉会となりました。今後もアルプス電気株式会社のご協力のもと、工作を通じて実際にものづくりの楽しさを体験できる講座を開催していきます。

問合先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

小中学校連合行事 (展示会)の開催

区内小中学校の「児童生徒の豊かな情操を育む教育活動」の一環として、小中学校連合行事(展示会)を開催しています。

23年度も下記の日程で各校の表現力豊かな作品が数多く展示されます。児童・生徒の力作の鑑賞に、ぜひ会場へ足をお運びください。

展示会名	展示期間
小学校連合図工作品展	平成23年10月19日(水)～25日(火)
中学校連合美術作品展	平成23年11月12日(土)～18日(金)
小学校連合書写展	平成24年1月17日(火)～23日(月)
中学校連合書写展	平成24年1月25日(水)～31日(火)
中学校連合技術・家庭作品展	平成24年2月2日(木)～7日(火)
特別支援学級連合作品展	平成24年2月16日(木)～22日(水)

▼会場：池上会館1階展示ホール

▼開場時間：午前9時～午後5時

*ただし、各最終日は午前中(12時まで)のみの展示です。

問合先 指導課指導主事

TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

伝統芸能「水止舞」

大森東の厳正寺では、毎年7月14日、雨乞いとは反対に雨を止める祈りの行事が行われてきました。由来は、元亨元年(1321)、干ばつとき、同寺の法密上人がワラで龍頭を作り、雨乞いをしたところ雨が降り過ぎた。そこで獅子舞を奉納して龍神を鎮め、雨が止むのを祈ったことにあるといわれます。七百年近くの伝統を誇る東京都指定無形民俗文化財です。

まず、大森東中学校裏門前から「道行き」が始まります。先頭は、雨をもたらず龍神に見立てられた「大貝」。その後ろに子どもが演じる「警戒」、伴奏の「囃子方」「花籠」、最後に獅子が続きます。「大貝」は太いワラ縄にぐるぐる巻きにされ、寺まで運ばれます。

寺に到着すると、境内の舞台上に上げられ、太縄が解かれると土俵のように輪が作られます。いよいよ、雄獅子、中獅子、雌獅子の3匹獅子舞の始まりです。舞には、雌獅子が中央に出て舞い始める「女舞」や、3匹と一緒に舞う「雌獅子隠し」などがあり、演出的にも楽しめます。

天候が生活に大きく影響を及ぼした時代から受け継がれてきた伝統は、人と人との絆をはぐくみ、将来へ伝えられていくことでしょう。

問合先 郷土博物館

TEL 3777-1070

FAX 3777-1283



大田区立郷土博物館 特別展

「冬のぬくもり、エコ暖房 湯たんぽ」

▼会期 10月30日(日)～12月18日(日) ▼休館日 月曜日 ▼入館料 無料

湯たんぽ(湯湯婆)は、陶製・金属製等の容器に湯を入れ栓をして寝床等に入れることで、足や体を温める道具です。古くは中国唐時代に存在が知られますが、日本には室町時代に伝わったといわれます。特別展では、湯たんぽを中心に懐炉や行火といった暖房具約250点を展示し、その歴史と文化を紹介します。

1. 特別展講演会 講師・濱中進氏(湯たんぽ研究者)

11月20日(日) 「湯たんぽの歴史と文化」

12月4日(日) 「湯たんぽをコレクションして」

2. 展示解説(フロア・トーク) 講師・濱中進氏(湯たんぽ研究者)

11月27日(日) 12月18日(日)

1、2 共午後2時から 当日当館会場へ 先着80名 参加無料

同時開催「大田区の弥生時代」

大田区の弥生時代遺跡の発掘成果を紹介し出土遺物を展示します。

1. 博物館講座 講師・安藤広道氏(慶應義塾大学准教授)

10月30日(日) 「最近の弥生時代の研究動向」

11月6日(日) 「大田区と周辺地域の弥生時代について」

いずれも午後2時から 当日当館会場へ 先着80名 参加無料

2. 博物館講座 講師・当館学芸員

11月13日(日) 「石器・土器にふれて学ぶ大田区の弥生時代」

午後2時から 小学5年生以上 参加無料 先着30名

申込方法 10月21日(金) 8時30分から TEL (03)3777-1070で受付

問合先 郷土博物館 TEL 3777-1070 FAX 3777-1283

平成24年度使用 大田区立中学校教科用図書採択結果について

平成24年度使用中学校教科用図書の採択が8月5日の教育委員会臨時会で行われました。採択結果は以下のとおりです。

種目	発行者	書名	種目	発行者	書名
国語	光村図書出版	国語	音楽(一般)	教育芸術社	中学生の音楽
書写	学校図書	中学校書写	音楽(器楽)	教育芸術社	中学生の器楽
社会(地理)	帝国書院	社会科 中学生の地理 世界のすがたと日本の国土	美術	光村図書出版	美術
社会(歴史)	育鵬社	中学社会 新しい日本の歴史	保健体育	大修館書店	保健体育
社会(公民)	育鵬社	中学社会 新しいみんなの公民	技術家庭(技術)	開隆堂出版	技術・家庭(技術分野)
社会(地図)	帝国書院	中学校社会科地図	技術家庭(家庭)	開隆堂出版	技術・家庭(家庭分野)
数学	教育出版	中学数学	英語	学校図書	TOTAL ENGLISH
理科	学校図書	中学校科学			

問合先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

就学通知書を12月下旬にお送りします

平成24年度大田区立小中学校への就学通知書は12月下旬に発送します。

大田区は「家庭、学校、地域」が一体となって地域の子どもを見守り育てるため、地域に根ざした学校づくりを目標とし、住所によって学校を定める指定校制度を採用しています(通学区域は区のホームページでご確認いただけます)。したがって、学校選択制ではありません。

ただし、指定校以外の学校を希望する相当の理由があり、かつ受け入れる学校に支障がない場合は、指定校変更申請により指定校以外の学校に入学することができます。申請にあたっては右記注意事項をご確認ください。

平成24年度新入学児童・生徒の指定校変更申請の一斉受付は、1月上旬に区役所本庁舎で行います。日程等の詳細は就学通知書をご覧ください。

指定校変更での受入れを制限する学校については、区のホームページでは12月上旬から、大田区報は12月21日号でお知らせします。



【ご注意ください】

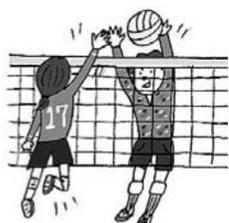
- 学校施設の設備状況などによって受入れが困難な場合は、理由の如何を問わず指定校変更を許可できないことがあります。
- 指定校変更希望者が受入れ枠を超えた場合は抽せんによって入学を決定することがあります。その場合、申請理由に優劣は設けません。
- 平成24年度入学より小学校1年生は1学級を35人で編制することになったため、学級数が増え教室数との関係で、指定校変更による受入れを制限する学校が増加すると見込まれます。
- 現在指定校変更で通学している小学校と通学区域が重なっている中学校へ入学を希望する場合でも、希望する中学校が指定校でない限りは指定校変更申請が必要となります。
- 兄弟が指定校変更を許可されても、弟妹が入学するときに同様に指定校変更を許可されるとは限りません。指定校変更により兄弟姉妹が別の学校になってしまう可能性があることを踏まえて慎重にご検討ください。
- 私立学校等を受験予定であっても、区立であれば指定校以外に入学を希望する場合は、受験結果を待たず受付期間中に指定校変更申請を行ってください。
- 大田区外から大田区立小中学校に区域外就学することはできません。
- 住所を偽って就学通知書を受ける等不正な手続きで就学した事実が判明した場合は、入学後においても転校していただけます。

問合先 学務課学事係 TEL 5744-1429 FAX 5744-1536

表彰 学年は受賞時のものです。

□スポーツ部門

- ・第51回全国中学校水泳競技大会 出場
100メートル平泳ぎ 200メートル平泳ぎ
大森第七中学校 2年 伴瞭太
200メートルバタフライ
石川台中学校 3年 戸坂賢
400メートル個人メドレー
石川台中学校 1年 伊東虎太郎
- ・第65回東京都中学校バレーボール選手権大会
男子3位 大森第二中学校バレーボール部
- ・第61回東京都中学校ソフトテニス選手権大会
女子団体3位 志茂田中学校
- ・第62回関東ソフトテニス選手権大会
シニア女子60 優勝 落合やよい



教育委員会委員長等の就任について

第6回教育委員会定例会にて、任期満了に伴う委員長選挙が行われました。新しい委員長及び委員長職務代理者は次のとおりです。



委員長
櫻井 光政



委員長職務代理者
藤崎 雄三

教育委員会の主な議題

- 平成23年第6回定例会
 - ・大田区文化財保護審議会委員の委嘱について
 - ・大田区教育委員会委員長の選挙
- 平成23年第7回定例会
 - ・平成24年度使用大田区立中学校教科用図書調査資料報告
 - ・大田区総合体育館の指定管理者の指定について
 - ・大田区総合体育館の利用料金の承認について
- 平成23年第8回定例会

・平成24年度使用大田区立中学校教科用図書採択について

・大田区立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例原案の提出について

□平成23年第2回臨時会

・平成24年度使用大田区立中学校教科用図書採択について

□平成23年第3回臨時会

・学校教育法附則第9条の規定に基づく平成24年度特別支援学級使用教科用図書採択について

・平成24年度使用大田区立中学校教科用図書採択について

教育委員会定例会の開催予定日

- 日時 平成23年10月26日(水)
- 平成23年11月22日(火)
- 平成23年12月21日(水)

□時間 午後2時から

□場所 本庁舎6階教育委員会室

※予定が変更になる場合もあります。傍聴を希望される方は、あらかじめ下記までご確認ください。

問合先 教育総務課庶務係

TEL 5744-1422 FAX 5744-1535